

唐丹小学校 出前授業（太陽と月の形）

日時： 2014年9月9日

場所： 釜石市立唐丹小学校

参加者： 小学6年生 10名

単元： 小6「太陽と月の形」

講師： 竹下 陽子（お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター 特任講師）

実施方法：

月の満ち欠けについて学習する本単元では、児童自身が体験を伴った学習を行うことは、なかなか困難と言われている。そこで、今回は直径30cmの発泡球を月と見たてて、照明に照らされた月の影がどのようにでき、月の形がどの位置でどのように見えるかを探すなどの活動を行った。また、自分の頭を地球と仮定して、照明のあたり具合で、昼、夜（真夜中）などの時間を体の向きで表現した。途中、大型のテレビモニターを使って、月と太陽の位置関係について全員で学習した。授業の最後には、2人一組でタブレットを使って、月の表面のクレーターを探した。

実施結果：

少人数のクラスだったため、このような形式で実施できた。児童たちは、体を動かし、学習に取り組んでいた。

感想：

教科書の図だけではなかなか理解しづらい単元だったので、体験を交えた学習ができてよかった。（教員）

